

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-4-1
事業名 災害公営住宅整備事業（若柳地区）

事業費 総額156,320千円
（内訳：用地費26,100千円，設計監理費10,584千円，
工事費119,636千円）

事業期間 平成24年度～平成25年度

事業目的・事業地区
市内の若柳地区において，東日本大震災による被災者の居住の安定確保を図るため，
災害公営住宅の整備を行ったもの。

事業結果
地区名：若柳地区（用地面積 3,664㎡，計画戸数 10戸）
木造平屋 5棟10戸建設（1棟2戸型：長屋形式）



南面



北面



東面



西面

<平成24年度>

- ・測量設計，実施設計 8,169千円
- ・用地取得 26,100千円

<平成24年度～平成25年度>

- ・建設工事（5棟10戸），建設監理 122,051千円

<平成25年度>

- ・8月1日より供用開始（令和3年3月末現在 10戸入居）

事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

・若柳地区災害公営住宅は令和3年3月現在で10戸が入居している。建設計画戸数を満たしていることから事業の適正な執行がなされていると判断される。

・多様な世帯構成や生活のニーズへの対応が必要であり、今後も震災前の地域コミュニティや高齢者等へ配慮したまちづくりを推進し、安定した生活への移行を支援する。

② コストに関する調査・分析・評価

・事業費の設計・積算は宮城県建築工事積算基準等により実施し、栗原市財務規則等に基づき入札を行い、業者を選定している。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

・若柳地区における災害公営住宅整備事業は、以下のとおり、概ね予定どおり事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

測量設計，実施設計発注・完了	平成24年8月～平成25年1月
用地取得	平成24年12月
建設工事発注・工事着手	平成25年1月～3月
工事完成	平成25年7月
供用開始	平成25年8月

<実際に事業に有した事業期間>

測量設計，実施設計発注・完了	平成24年8月～平成25年1月
用地取得	平成24年12月
建設工事発注・工事着手	平成25年1月～3月
工事完成	平成25年7月
供用開始	平成25年8月

事業担当部局

建設部建築住宅課 電話番号：0228-22-1153